



**問** 近隣市との連携は

木村 彰人 議員



**Q** 本市に隣接する筑紫野市と大野城市とは、市街化区域が複雑に入り組む市境付近で、道路や交通、土地利用者等の様々な不整合が生じており、まちづくりの連携が進まない状態が長らく続いている。今から28年前に春日・大野両市が連携して進めた、一体的なまちづくりである「ハイタウン構想」にならない、今こそ「太宰府版ハイタウン構想」を計画すべきと考えるが、近隣市とのまちづくりにおける連携の進捗状況について伺う。



**A** 市長 本市におきまして、平成29年7月1日に福岡都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に沿った太宰府都市計画マスタープランの公表を行ったところです。今後人口が維持あるいは減少する可能性が大きいなかで、持続可能で、安全・安心して暮らせる都市づくりを進めるため、居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等のさまざまな都市機能誘導により、都市全域を見回したマスタープランとして位置づけられる立地適正化計画の策定に取り組んでいるところです。

## 近隣市と連携



機能や医療、福祉、商業、安心して暮らせる都市づくりを進めるため、居住機能や医療、福祉、商業、

### 全質問項目

- ◇近隣市と連携したまちづくりの推進について
- ◇大規模住宅団地の活性化対策について



**問** 部落差別解消にむけての本市の取り組みは

徳永 洋介 議員



**Q** 2016年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律は部落差別の存在を公式に認知するとともに、その解消に関する施策を求めるものです。そこで市の具体的な施策について、次の3点について伺う。



**A** 市長 本市は人権都市宣言を行っており、市民が互いの人権を尊重しあい、ともに生きる地域社会の実現をめざしています。同法の趣旨をうけて、平成22年策定の人権尊重のまちづくり推進基本指針の見直しについても適切に進めてまいります。市の方針を保持しつつ実施してまいります。

- ①相談体制
- ②教育・啓発施策
- ③部落差別の実態調査の現状と課題



### 全質問項目

- ◇本市における部落差別解消推進法の施策について

**部長** ①人権擁護委員による人権相談を法務局と連携しつつ行うとともに人権センター条例に基づく相談事業を隣保館で実施しています。  
②学校では太宰府市9ヶ年カリキュラム、人権に視点をあてた社会科カリ



市長が選挙で訴えられたことについて3点伺う。

- ① 中学校給食に筑紫野市の給食センターを活用する案について
- ② 福岡市営地下鉄の延伸について
- ③ 中学校完全給食実現のための財源について



計画を立案していきま  
す。渋滞が厳然としてあ  
り、一方そうした方々に  
お越しいただいて今後の  
財政を健全化させていく  
必要もある。地下鉄なり、  
ロープウェイなり、モノ  
レールなり、何かしら新  
たな交通網を考えしっか  
りと打ち出して参りた  
い。

**問** ことばで終わらず  
未来へ続く夢に

かどた 門田  
なおき 直樹  
議員



市長 ① 筑紫野市給食センター

との連携を選択肢の一つとしてお示しました。その連携を確保することによって税収増を図っていく。そうした様々な税収増と歳出の見直しを同時に行うことで給食に限らず様々な施策の財源を作り出していく。

③ 近隣自治体との連携なり、本市独自の産業を発展させることによる税収増を図っていく。そうした様々な税収増と歳出の見直しを同時に行うことで給食に限らず様々な施策の財源を作り出していく。

**全質問項目**

- ◇市長の公約について
- ◇介護予防・日常生活支援総合事業について



今回の定例会では、副市長、

教育長の人事案件が提案されておりません。市政運営の「かなめ役」でもある三役体制の整備は、早期に行う必要があると考えます。市長の所信表明において空席となつている副市長、教育長をできるだけ早く任命いたしますと述べておられますが、今の時点でのおおむねいつ頃、議会に提案できる見通しなのか伺う。



市長 副市長、教育長について

は、兼ねてより広い知見や改革への強い気持ちを持つ人物であることや三役のチームワークが重要であること等と述べてまいりました。あくまで特定の人物を想定したものではありません。

内外の人材について広く検討しているところであります。いずれにせよ、所信で述べましたようにできるだけ早く任命を目指すので、拙速であつてもいけないと考えておりますので、ご理解を頂ければと思います。

**問** 三役体制の決定はいつ

ふじい 藤井  
まさゆき 雅之  
議員

チームワーク!



**全質問項目**

- ◇楠田市長の政治姿勢について
- ◇国民健康保険税及び事業について



楠田市長は、このたびの市長

選挙に当選され、市政発展のため尽力なさることを決意されました。若さと行動力で、4年間を全うしていただけるものとして信じていますが、任期途中に国政選挙があれば、市長職をやめ国政選挙に出馬されるのではといううわさも耳にします。この場ではつきりと、市長として4年間全うすることを市民の皆様にお約束いただきたく、市長の思いを伺う。



市長 所信表明で「時あたかも

混迷を深め、さまざまな課題を抱えていた太宰府市政を担わせていただくことになりましたのは、いわば運命の、めぐり合わせ、与えられた政治家としての使命だと認識しております。」と述べました。まさしくその思いで、まずは与えられた任期を4年間全うするように頑張つてまいります。そのうえで、私が太宰府と市民の皆様にとって必要とされるのであれば、これからまずと太宰府に骨を埋める覚悟です。



市長の覚悟を問う

長谷川

公成

議員

全質問項目

- ◇楠田新市長の思いについて
- ◇中学校完全給食について
- ◇安全・安心の通学路について



公共交通網形成計画の策定に

当たり重要な取り組みについて3点伺う。  
①慢性的な渋滞解消を期待できるのか  
②公共交通事業であるコミュニティバスの財政負担の適正化を図ること  
で、将来的にも持続可能な地域公共交通を構築するためには  
③市長が所信表明の中で、長期的な交通大動脈計画を策定し、さらなる人の往来と渋滞解消を目指すとは、どのような構想をお持ちなのか



部長 ①道路網計画の総合交通



具体的な実施プランを期待する

堺

剛

議員

全質問項目

- ◇本市の公共交通の取組みについて





**問** 「歴史の散歩道」の早期整備・改修を

原田 久美子 議員

**Q** 本市には、九州国立博物館や太宰府天満宮をはじめとして、史跡や観光名所が数多くあり、年間960万人もの多くの観光客の方々にお越しいただいている。

これらの観光スポットを結ぶ「歴史の散歩道」は、老朽化による道路舗装の劣化が目立ち、早急に整備、改修する必要があると考えるが、今後の対応方針について伺う。

**A** 部長 「歴史の散歩道」は、道路整備を行ってから20年以上が経過しており、多くの箇所が道路舗装の劣化が進んでいます。

これらの現状を改善するため、歴史まちづくり法に基づく太宰府市歴史的風致維持向上計画を策定し、この計画の中で歴史の散歩道環境整備事業を立ち上げ再整備を行う予定です。  
また、部分的な補修箇所については、一般的な市営土木事業として道路補修を実施してまいります。



**全質問項目**

- ◇大宰府史跡に関する整備について
- ◇公共交通について
- ◇公共施設の整備について



**問** 松川運動公園入口看板表示

村山 弘行 議員

**Q** 松川運動公園、公文書館の入口の案内板は、設置時より、見えづらい、わかりにくいとの声がありました。太宰府方面から来られる方も、あるいは宇美方面から来られる方も見えづらく、大変わかりにくい状況です。運動公園は、さまざまなスポーツイベントが開催されており、何とか早急に建替え等の対処ができないのか見解を伺う。

**A** 部長 現在県道からの入口に看板はありますが、立て看板であり、道路がカーブになっておりますので、宇美方面からは近づくまで看板が見づらい状況でございます。今後、もっとわかりやすい看板を設置するために、県道占有も視野に入れまして協議検討していきたいと考えております。



**全質問項目**

- ◇松川運動公園、上下水道事業センター、公文書館の入口看板表示について
- ◇市道縁石の反射板について
- ◇空き家、土地保有者不明の状況と対策について
- ◇国民健康保険の県との一元化に伴うことによる、国民健康保険税について



**問** 身近な包括ケアシステム構築のために

小富 眞由美 議員

**Q** 住み慣れた地域で人生を最後まで自分らしく送れる、そのためには医療と介護等の多職種が連携する在宅医療介護連携体制の構築が求められる。そこで5点について伺う。

**A** 部長 ①平成30年度より筑紫地区4市1町が共同で筑紫医師会に業務委託をして在宅医療・介護体制の構築を図ります。

②日常生活支援等の地域支援事業に力を入れると同時に、厚生労働省のシステムを活用して本市の課題の抽出をすすめます。

③地域包括ケアシステム構築の中核となるのが包括支援センターです。地域西部に現センターの支所として直営の包括支援センターを増設します。

④福祉サービスの効率的運用のためにも情報提供をすすめます。

⑤高齢者の歯科検診

④福祉サービスの効率的運用のためにも情報提供をすすめます。



在宅医療

全質問項目

◇地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みについて



**問** 地域包括支援センターの複数設置は

上 疆 議員

**Q** 現在、地域包括支援センターは、いきいき情報センター内の一カ所のみとなっており、多くの市民から少なくとも西地域に一カ所の設置を求める声が寄せられている。近隣の春日市には二カ所、筑紫野市には四カ所設置されているが、本市における複数箇所設置に向けての市長の所見と設置の際の運営方式について伺う。

**A** 市長 地域包括支援センターの複数設置については、これまでの経緯を踏まえた上で、現在策定中の高齢者支援計画の中で、地域の西側に新たな支所を一カ所設置する方針を示して参りたいと思います。

部長 複数設置については、第三次地域福祉計画において、平成三十一年度に福祉に関する拠点施設の設置を成果目標として設定しており、地域包括支援センター運営協議会の複数設置に関する意見書を踏まえ新たに支所一カ所を設置し、地域西側を担当圏域とする方針としていく所です。



地域包括支援センター

全質問項目

◇太宰府市地域包括支援センターについて



**問** 渋滞対策について  
新たな施策は

ふなこし  
**船越**  
たかゆき  
**隆之**  
議員

**Q** 県道筑紫野古賀線の君畑交差点から五条交差点までの渋滞においては、五条交差点手前の五条駅入口交差点で右折する車両が数台待機している場合、直進車両を妨げることになり、渋滞の要因となっている。対策の一つとして、五条駅ロータリーから県道筑紫野古賀線にバイパス側道を作ることにより、五条駅入口交差点の渋滞緩和ができるか考える。また、五条駅入口交差点から「どんかん道」へ右折する車両が進行しやすくなるか考えるが見解を伺う。

**A** 部長 今年度実施いたしました渋滞原因の解明をおこなっており、この区間の渋滞についても渋滞要因の解明を行うこととしております。平成29年度に策定いたしました第2次都市計画マスタープランにも記載しております。ご質問の五条駅周辺地区の面的整備の検討を行うとともに、平成29年度から平成30年度に於いて策定いたします交通総合計画、公共交通網形成計画、立地適正化計画などにより、道路網等の見直しの検討を行うとともに県や警察など関係機関との連携を行いながら、当該区間の渋滞緩和を図ってま



**全質問項目**

- ◇渋滞対策について
- ◇防災対策について



**問** 市長の考えるまちづくりビジョンとは

すやま  
**陶山**  
よしひさ  
**良尚**  
議員

**Q** 本市の将来を見据えてどのようなまちにしていくのか、ある程度の方向性・ビジョンを持つことが重要であり、ビジョンなくしてまちづくりはできないと考える。

**A** 市長 本市が持つ多くの宝を活かしながら、財政再建や渋滞解消などの諸課題を解決し、市民が住みやすく元気あふれる都(まち)にすることが、私のまちづくりのビジョンです。

これからのようなビジョンを持ってまちづくりに臨み、提唱された「7つのプラン」をどのように具現化していくのか、市長の考えを伺う。

そして、「7つのプラン」を具現化するため、平成30年度当初予算において、まずは「市長と語る会」の費用を計上し、市民に開かれた市政の実現を図ってまいります。そして、6月の第2回定例会における施政方針ならびに補正予算案を通して、さらに具現化してまいります。



**全質問項目**

- ◇市長の市政運営について



市内小中学校  
が特色ある学校

づくりを進めるために、  
授業協力者は不可欠な  
ものと考えます。そこで授業  
協力者の予算編成につ  
いて3点伺う。

- ① 授業協力者のための予  
算を一旦は増やしたその  
意図について
- ② その後減少に転じてい  
る理由について
- ③ 現状分析について



理事 ①平成21  
年度から授業協

力者への謝礼を若干増  
やしたことに加え学生サ  
ポーターを制度化し、約  
100万円の予算を加  
えたことが大きな理由で  
す。学生サポーターにつ  
いては、夏休みの補充学  
習のサポート、遠足の引  
率補助や運動会の補助と  
いった学校行事のサポー  
ト、授業における丸つけ  
サポートなどを行って  
います。

ん。

②平成21年度から5年間  
の決算額をもとに予算額  
が見直され、決定されて  
いったものであり、授業  
協力者や学生サポーター  
の活用を意図的に減らし  
ていたものではありません。



各小中学校の特色を  
伸ばすために

笠利かさり

毅つよし

議員

③専門的な知識や技能を  
有する方を授業協力者と  
して招聘することは、子  
どもたちに学ぶ楽しさを  
味あわせ、学びがいがあ  
る授業を行う上で有効な  
手段の一つであり、結果  
として学校の特色ある教  
育活動が持続可能なもの  
となったり、子どもたち  
の成長につながるものと  
考えています。

全質問項目

◇市内各校の授業協力者について

平成29年度市議会議員人権・同和問題研修



市議会も構成団体の一つである「太宰府市人権・同和問題啓発推進会」の取組として、毎年、市議会議員人権・同和問題研修を実施しており、平成29年度は平成30年2月9日に研修を行いました。

今回の研修は、「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月に施行されたことに伴い、福岡県人権施策推進懇話会会長の稲積謙次郎いなづみけんじろう氏を講師に迎え、「今なぜ部落差別解消推進法か」というテーマで講演いただきました。